ティル・フェルナー（ピアノ）

Till Fellner, Piano

　ウィーン生まれ、ブレンデルやマイセンベルクに師事。1993年のハスキル国際コンクールに優勝して国際的に注目を集めた。

　アバド、ブロムシュテット、ドホナーニ、ハイティンク、アーノンクール、ナガノ、ノット、K.ペトレンコらの指揮者と共演。昨今のシーズンではボストン響、ロンドン響、バイエルン放送響、モントリオール響などに客演した。室内楽ではベルチャ弦楽四重奏団や、テノールのパドモアと定期的に活動。

　J.S.バッハ「平均律クラヴィーア曲集」とベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲の演奏に力を入れ、後者は2008～10年にかけてニューヨークや東京、ロンドン、パリ、ウィーンなどで全曲演奏会を行った。

　録音も数多く、ECMレーベル専属のアーティストとして、J.S.バッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」や「インベンションとシンフォニア/フランス組曲第5番」、ナガノ指揮モントリオール響との共演によるベートーヴェンのピアノ協奏曲第4、5番、バートウィスルの室内楽曲、「Till Fellner　in Concert」と題したリストとベートーヴェンのライヴなどが発売されている。2016年にベルチャ弦楽四重奏団と共演したブラームスのピアノ五重奏曲は、同年のディアパゾン・ドールを受賞した。